

今年も頑張るぞ！！ 青年部

日刊 動労千葉

1988.1.12
No.2737

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五・六・八（公衆）〇四七二（二二）七二〇七

八八年団結旗開き

一九八八年一月七日、千葉市弁天町会館において、六十五名の青年部員が集まって八八年青年部団結旗開きが開催された。激動の八七年の闘いを振り返り、「反撃の年、八八年」を誓った。

十八時三十分、佐藤副青年部長の司会のもと青年部団結旗開きは始まった。

最初に永島書記長が基調提起を述べた。「昨年は、一方で分割・民営化が強行された。しかし、われわれ動労千葉は二波のストをひきついで、強制出向攻撃と不当労働行為に対して組織の九割を越えるスト権の支持・確立を始め、青年部が先頭になって闘いぬき当局の攻撃を大きくはばんだ。闘いははじまったばかりだ。職場の労働監獄化絶対粉碎・原職奪還・「63・3ダイ改」阻止にむけ今日を新たな出発点にして闘おう」と力強く訴えた。

つづいて本部より布施書記長が情勢について語り、参加者の意思統一を深めた。「整備新幹線の例でも明らかのように、分割・民営問題は



各支部から65名が結集。



各支部青年部代表の決意表明。（〆弁天町会館）

何も解決していない。赤字解消や鉄道労連の内部対立等、矛盾は大きい。今年は反撃の年だ。さいわい、昨年末の各支部大会において若い執行部体制が新たに確立され、頼もしい限りだ。焦点化するであろう大量出向攻撃と闘いぬこうと挨拶された。

つづいて全支部青年部より新年の決意表明を行った。この年末に新しく青年部長になった新小岩・斎藤君、津田沼・高田君をはじめ、意気高く新年の抱負を語った。

さらに杉本青年部長のカンバイの音頭で酒をくみかわし、歓談に入っていた。

最後に、青年部員で支部長の重責を担う、津田沼・浜野支部長、千葉転・繁沢支部長のあいさつ、本部青年部常任委員の決意表明をおこない、団結カンパニーを三唱し散会した。